

令和3年度天皇誕生日祝賀レセプションの開催

3月30日、在チリ日本国大使館において、令和3年度天皇誕生日祝賀レセプションが開催されました。招待者をモビリティパス所持者（ワクチン接種者）に限定、会場面積に応じた参加人数の制限や十分な換気の実施等のチリ保健省の定める公衆衛生ルールの遵守に加え、アクリル板の設置等、独自の感染防止対策も講じた上で開催された同レセプションには、チリ政府、議会、経済界、日系社会、教育・文化関係者、外交団代表、現地メディア関係者等の各界を代表する方々の出席を得ました。

また、今回のレセプションでは特別に、日本から訪問中のバイオリニストである鈴木舞さんによる両国国歌演奏のほか、日本古謡や日本の懐かしい楽曲のメドレーが演奏されました。

渋谷大使は、挨拶の中で、天皇陛下の御誕生日を祝い、御健勝と世界の平和を祈りつつ、ボリッチ大統領と岸田総理の下で両国が共通の価値観に基づき、伝統的な協力関係のみならず様々な面で連携を深めていきたい旨述べました。また、チリ政府を代表して即位の礼に出席されたフレイ元チリ大統領から挨拶をいただき、その中でチリにとり日本は貿易のみならず投資においても主要なパートナーであり、その実績は日本の官民からのチリに対する信頼の証左である旨、また、日本を含むアジア太平洋地域との連携を深める上でTPP11のチリ批准は不可欠である旨述べられました。

会場では、日本食文化の紹介の一環として日本酒が提供されたほか、感染対策に配慮した形で、公邸料理人による日本料理が振る舞われ、参加者の間で好評を得ていました。

また、会場には、大使夫人による、元号「令和」の出典元となった万葉集の一節の書および生け花を展示しました。

今回のレセプションは、日チリ関係125周年の佳節にあたり今後の両国関係増進の機運を更に高める機会となりました。



